

### 3 体験活動等の推進

宿泊学習等の自然体験やボランティア活動等の社会体験などを通じて、主体的に課題に挑戦したり、多様な他者とともに物事を進める喜びや充実感を体得したりすることで、豊かでたくましい心身を育み、自然を尊ぶ心や社会奉仕の精神を培う。

#### 体験を重視した教育課程の編成

◇カリキュラム・マネジメントの視点から指導内容の精選を図るとともに、指導形態、1単位時間や授業時数の運用などに創意工夫を加え、体験活動を指導計画に適切に位置付ける。

- ・小・中・高を見通して系統立てた体験活動の計画
- ・道徳科における体験の生かし方を工夫した指導の充実
- ・特別活動における集団活動による体験的な活動の充実
- ・総合的な学習の時間における体験を通して課題を追究する活動の充実
- ・各活動のねらいを達成するための事前・事後指導の充実(体験の言語化を促進)

#### ボランティア活動の充実

◇地域社会の一員であることの自覚を促すボランティア活動の機会を創出する。

- ・家庭や地域と連携を深め、地域の人々との幅広い交流ができる工夫
- ・地域のニーズに応じた活動の推進、活動の様子を地域社会へ発信

#### 児童生徒の自主的・自発的な活動の重視

◇学級・学校の実態や児童生徒の発達の段階を考慮し、児童生徒が自主的・自発的に活動できるよう工夫する。

- ・児童生徒の発意・発想に基づき、児童生徒が活動計画を作成し、活動できる展開の工夫
- ・仲間と協力して活動を進めることができた喜びや計画したことが実現できた満足感を味わい、自己や仲間のよさや可能性に気づき、自信をもつ場の充実

#### ■関連資料 「本県の学校教育における体験活動の系統」

